

✧ 海外ニュース ✧

インドネシア 2018年7月30日 Antara (Indonesia)

■ 南スマトラ州のパリンドラ有料道路が運用開始へ

S Sumatra's Palindra toll road ready for operation

南スマトラ州のパレンバン～インデララヤ（パリンドラ）有料道路の工事が100%完了し、現在、開通を待つばかりであると、有料道路プロジェクト・マネージャーのハサン・トゥルカヒョ氏が述べた。トゥルカヒョ氏によると、現地で月曜日「国営有料道路建設会社のPTフタマ・カリヤ（HK）社が、ターンパイクの工事が100%完了し供用開始準備が整ったことを確認した。この有料道路は間もなく運用開始となる。開通の決定は公共事業・公営住宅担当大臣の権限である」とし、道路の実行可能性試験が2018年7月20日に実施済みであることを明らかにした。22kmの有料道路は既に、2018年6月8日～22日までのイド・アル＝フィトル2018という断食終了を祝う大祭を前に、事実上開通していた。トゥルカヒョ氏は「HK社がパリンドラ有料道路の7kmの区間I、すなわちパレンバン～ペムルタン区間の運用を開始している」と付け加えた。

インド 2018年7月30日 LiveMint (India)

■ NHAI が通行料金体系の見直しと通勤・通学者の利用向上に向けた新たな政策を検討

NHAI to come up with new policy to revamp toll system, improve commuter experience

インド国道庁（NHAI）は、通勤・通学者の利用向上に向け通行料金体系全体を見直すという、新たな政策を検討中である。新政策の下、国道の建設と運用を担当する最高機関であるNHAIは、次世代機器と専用車線を使用して料金徴収システムを改良する計画である。NHAIはボストン・コンサルティング・グループ（BCG）に、詳細な計画の立案と、インドにとって最良の電子料金徴収システムおよび必要なインフラの提案を依頼した。NHAIはさまざまな料金徴収技術の実験を進めており、GPSを用いた対距離料金徴収システム（通勤・通学者が移動距離に応じて通行料金を支払うシステム）やFASTag（利用者の口座から通行料金を自動引き落としする電子システム）が挙げられる。ある政府高官が匿名を条件に、「BCGは、構築すべき新世代料金所の種類、望ましい新たな料金徴収の仕組み、そして新世代料金徴収技術に必要なインフラの種類を提案する予定で約6か月以内に政策案を提出する見通しである」と述べた。

アメリカ 2018年7月31日 Route Fifty

■ ジョージア州内の郡が移動性向上を目指し GIS を郡内の輸送システムと統合

This Georgia County Integrated GIS With Its Transportation System to Improve Mobility

ジョージア州コップ郡の住民は間もなく、朝の通勤・通学で、政府とウェイズが提供する道路状況と事故のリアルタイム情報を一体化するアプリを使用して、計画的に行えるようになる。同郡はこれまで2年間を費やし、郡内の都市交通規制システムを地理情報システム（GIS）と統合する作業を進めてきたが、以前からGISを水質評価などの業務にも使用している。シドニー協調・適応型交通システム（SCATS）は既に、信号待ちの台数を監視するカメラを使用して、交通信号を自動的に変更させることができる。同郡はウェイズのコネクテッド・シチズン・プログラムという無料データ交換サービスに加入することにより、3年前から導入しているコップ・コミュートというアプリを改良し運転者に通行速度を通知するという、より実用性の高いサービスを行っている。また、郡内の道路工事データをウェイズに送ると共に、道路状況と事故通報の情報を示すダッシュボードの試験運用を郡の交通管理センターで実施中である。

ドイツ 2018年8月2日 Verkehrs Rundschau

■ ドイツ・ポーランド間の道路が突然沈下

DEUTSCH-POLNISCHE STRASSE PLÖTZLICH ABGESACKT

昨年の10月、まだ新しい高速道路20号の一部が湿原に沈み、結果的に寸断された。そして現在、ドイツ・ポーランド国境近くのメクレンブルク＝フォアポンメルン州では、新しい別の道路が沈下している。わずか数年前に新たに建設された、ラーデンティンとポーランドのバルニクとの間の郡道VG83号が問題であると、木曜日にグライフスヴァルトにおいて、郡のスポークスマンであるアーヒム・フロイツハイム氏が明らかにした。この道路は8月7日～11日の間、完全に閉鎖され対策が講じられることになっている。この車線中央に生じた突然の沈下に関する原因は不明であるという。

アメリカ 2018年8月6日 The Business Journals / Tampa, Fla.

■ 高速道路公社は、交通プロジェクトをタンパのダウンタウンに拡大する

Expressway authority expands transportation project in downtown Tampa

タンパ・ヒルズバラ高速道路公社 (THEA) は、同公社のコネクテッド・カープロジェクトを、リー・ロイ・セルモン高速道路のリバーシブル・エクスプレス・レーンを定期的にご利用する車両まで拡大していく意向である。このパイロットプロジェクトには、車両のバックミラーに危険な道路状況または逆走をしていないかどうかをドライバーに伝えることができる特殊な技術が組み込まれる。この技術は、公道で自動運転車両を将来利用していくための下地となる可能性がある。THEA は、この特殊なバックミラーを、500台を超える車両に装備した。参加した運転者は、最大550ドルまで通行料が半額になる。

アメリカ 2018年8月7日 WTOP-FM (Washington, D.C.)

■ 自動2輪車の道路上での安全維持に役立つ技術ソリューションが求められている

Tech solutions wanted to help keep motorcyclists safe on roads

バージニア州アーリントンで活動する研究員は、2015～2016年にかけて大幅に5%も増加した自動2輪車死亡事故の増加率を抑制する取組みに向けて、新たな技術の開発および促進を進めている。自動2輪車技術評価チャレンジ、略称MotoTecでは、市販製品または準市販製品のベンダーに、バージニア工科大学交通研究所の研究員との協力を要請していく意向である。自動2輪車の安全性向上につながる方法には、道路センサーまたは他の走行車両から情報を収集し、自動2輪運転者のヘルメット内に情報を表示する早期警報システムなどが考えられる。このディスプレイは、近傍の建設工事区間または前方車両の急速な速度低下の存在などを表示できる可能性がある。

アメリカ 2018年8月7日 The Hill

■ 調査結果により、自動運転車両は複数の障害物に対し、何度も停止に失敗したことが判明

Study finds self-driving cars repeatedly fail to stop for obstacles

米国道路安全保険協会 (IIHS) の新たな研究によると、自動運転車両は、特定の障害物については停止しないことが判明したり、運転者が速やかに手動制御を行わない場合に他の危険な状況が示されたりしている。IIHSの研究員はBMW、メルセデスベンツ、テスラおよびボルボ社の路上およびトラック試験を通じて、自動運転車両は何度も障害物の認識に失敗したり、認識しても止まれなかったことがあったと指摘した。IIHSによると、自動運転車両は運転者が運転を管理しない場合は、障害物に衝突することもあるということである。

ドイツ 2018年8月14日 BMVI

■ 大気汚染改善および現代的な公共近距離旅客輸送のための、新たな1億3000万ユーロ

Weitere 130 Millionen Euro für saubere Luft und modernen ÖPNV

連邦交通デジタルインフラ省は、モデル都市における革新的な交通プロジェクトを支援する。約1億3000万ユーロを用いて、2020年までに5カ所のモデル都市において、大気汚染改善へ向けた支援を行う。この予算は「2017年～2020年までの大気汚染改善即時計画」に使用される。モデル都市である、ボン、エッセン、ヘレンベルク（バーデン＝ヴュルテンベルク州）、マンハイムおよびロイトリンゲン（バーデン＝ヴュルテンベルク州）は、公共近距離旅客輸送（ÖPNV）の改善および窒素酸化物汚染の減少を目指したモデルプロジェクトを実施することになる。これらは、ÖPNVの整備、チケットの割引、経路決定の改善、あるいは新たな自転車道などである。

イタリア 2018年8月14日 ZEIT

■ ジェノバにおける橋の崩落で少なくとも26人の死者

Mindestens 26 Tote bei Brückeneinsturz in Genua

イタリアの港町ジェノバにおいて、高速道路10号の4車線を有する高架橋が部分的に崩落したが救急車は複数の生存者を発見することができた。交通大臣によると、建設作業が崩落の原因ではないという。これまで公式に26人の死者が確認されたとリグーリア州が明らかにした。15人が負傷し、そのうち9人は重傷であるという。イタリアの報道社は、救急車の情報から少なくとも35人の死者が出ていると伝えた。橋の崩落の原因は、現時点では不明である。

イギリス（ドイツ） 2018年8月14日 Verkehrs Rundschau

■ ロンドンではトラックに関する安全性承認を計画している

LONDON PLANT SICHERHEITS-ZULASSUNG FÜR LKW

2020年秋以降、道路上で運転席からの直接的な視界が悪く重量のあるトラックは、ロンドン大都市圏では通行禁止となる。ロンドンは2019年秋以降、ロンドン大都市圏の通行を希望する12トン以上のトラックに関し、「安全性承認」の導入開始を確認している。要件を満たしていないトラックは、2020年秋から通行禁止を考慮しなければならない。この措置は、交通事故による死傷者数を減少させるために行われるロンドンの試みの一部である。

（平成30年9月号P66「海外ニュース」の記事について下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます）

欧州（アメリカ） 2018年7月6日 The Plain Dealer (Cleveland)

■ EUがアトランティア社とACS社を清算してアベルティス社を買収

EU clears Atlantia, ACS to buy Abertis

EU執行部は金曜日、スペインのACS社（ACS.MC）とイタリアのアトランティア社（ATL.MI）による自動車道路企業のアベルティス社（ABE.MC）の買収を認可したが、説明によるとこの買収は競争上の懸念を生み出すおそれはないとのことであった。スペインのACS社とイタリアのアトランティア社との間でアベルティス社を買収するため180億ユーロの共同入札に参加するという合意に至った結果、共同経営の新会社が創設され、同社がスペインの有料道路運営企業であるアベルティス社の資産を保有することになる。欧州委員会、欧州連合の競争監督者の声明によると、「欧州委員会の結論として、今回の取引案は欧州経済地域内で競争上の懸念を全く生じないと予想される。」